

大 代 地 区
地 域 カ ル テ

多賀城創建記念

TAGAJO 1300th Anniversary
724 ▶ 2024

大代地区

大代地区には奈良時代の製鉄炉や炭窯、工房跡がまとまって発見された柏木遺跡があります。ここで作られた鉄は多賀城に運ばれ、武器などに加工したと言われており、多賀城直営の製鉄所と考えられています。

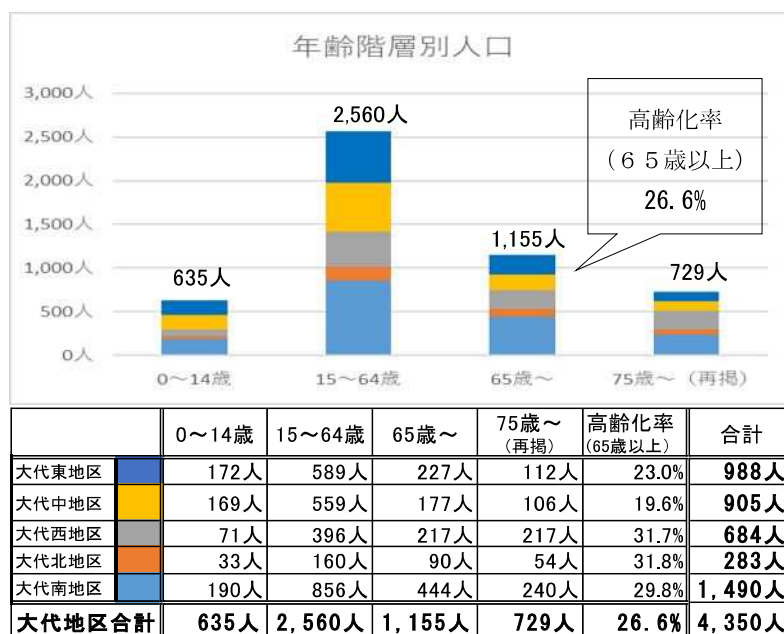
大代地区内には多賀城市大代から七ヶ浜町湊浜にかけて広がる緑地公園。運動広場と芝生広場、陸上競技場、野球場、などがあり、市民の憩い場があります。

また大代地区公民館は、住民の地域活動の中心となっています。

【参考：令和元年度資料展 地域の文化財を参照】

【参考：多賀城市観光ガイドブック 多賀城悠歩から引用】

貞山運河と多賀城東小学校



(令和6年5月1日現在)

【大代地区の強み】

自慢じゃ！



大代東

平成6年4月1日に分区して30年。ほとんどが環境に恵まれた住宅地であり、都市公園が2ヶ所ある。子供から大人まで利用され、住みやすい住環境である。

近くには、保育園・幼稚園と小中学校。またスーパーや医療機関も多く、恵まれた住環境地域であると思う。

毎月、「大代東だより」を発行し、行事予定や結果報告、防災に関する情報を発信している。

大代中

地区内に大代地区公民館があることから、大代地区全体の交流の場となっている。

地区内に貞山運河、柏木遺跡などの歴史遺産があり身近に歴史を学ぶことが出来る。

また、地区に隣接して火力発電所、石油製油所、下水道事務所があり、地域交流が盛んである。

地区内にスーパーや医療機関も多く、生活に便利な環境にある。

地区内に緩衝緑地公園があり、ウォーキング、グランドゴルフなど身近に利用することが出来る。

町内会新聞を毎月発行している。

大代西

町内会清掃を年3回行い、きれいで住み良い町内を目指している。町内会だよりでの呼び掛けが功を奏し、参加者が年々増え浸透してきている。

町内会だよりを月1回発行して、行事などいろいろな情報を発信している。

大代南

事業に応じて担当者がいるが、何事も役員総ぐるみで実施している。

各種団体とのつながりを大事にしている。

近くにスーパーや医療機関があるので、便利な環境である。

大代北

市内でも小さな地区だが、それ故、顔見知りが多く、顔の見える関係が出来ている。

仙台新港の開港による移転で出来た地区。また東日本大震災で被災した住民も多く移転してきている。良い町を作ろうという思いから結びつきは強く、今でも変わらず結びつきの強い地区である。

【大代地区の気になるところ】

大代東

町内会の役員が高齢化してきてため、後継者となる若い人達へ声掛けをしているが、勤めていると難しい。

子ども会育成会の対象者が多いが、子ども会育成会に加入される方が少なく、運営に苦慮されている。
資源回収を町内会と協力して行っているが、少ない会員で毎月の回収日は、親子そろって仕分けや積み込み作業に参加している。

大代中

町内会を始めとして、各種団体も後継者を探すのが難しい。

町内会費未納者が増えている。

大代地区のほとんどが津波浸水地区なので危機感を持っている。
サロンや行事は大代地区公民館で行っているが、特に高齢者は2階までの階段の昇り降りが大変なためか参加者が少ない。

大代西

市中心部へのアクセスが良くない。
高齢者が増えており、災害時の避難に不安がある。

子供の遊び場が少ないと思う。
緑地公園はあるが、子供達だけでは危なく遊ばせられない。

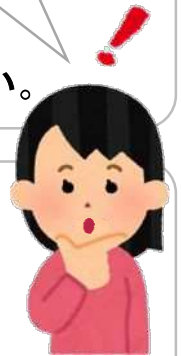
なるほど
悩みは各地区
それぞれなのね...

大代南

高齢化が進んできていること。

若い方々の取り組みや参加が少ないこと。

近所の関わりの薄さ。



大代北

高齢化が進んできていること。

30才代～50才代の若い世代で協力してくれる人材が少ない。

集会所の老朽化が進み、修理代がかさんでいる。災害時に集まる場所としても不安がある。

【大代地区の自慢の行事やイベント】

大代東

『柏木神社秋季例祭』

10月末の日曜日に、園児による浦安の舞と和太鼓の披露があり、大代5区地域をまわる神輿渡御が行われ、賑わいを見せています。



柏木神社秋季例祭の様子

『サロン大代東ランチカフェ』

参加者同士のおしゃべりや、頭の体操、カラオケなどをしてから、役員手作りのご飯を食べます。
皆さん、毎回楽しみに参加されています。

大代中（現在は大代地区コミュニティ推進協議会で主催）

『水難物故者慰霊祭』

大代地区の伝統行事です。
この行事は明治33年8月14日に橋本橋が崩落して亡くなった方々を供養するとともに、東日本大震災の津波で亡くなった方々を悼み、毎年8月20日に行っている行事です。慰霊祭では、西園寺住職による読経や奉納舞踊などが行われています。
また、出店もあり賑わいのある行事となっています。



水難物故者慰霊祭の様子

大代西

『グランドゴルフ大会』

グランドゴルフ大会を年3回開催しています。高齢の方の参加ばかりだったので、小学生にも参加を呼び掛け3～4人の参加があります。毎回30人くらいの参加があり、住民の親睦の場となっています。



グランドゴルフ大会の様子

【大代地区の自慢の行事やイベント】

大代南

『大代南区ふれあい祭り』

東日本大震災や新型コロナ禍があり、祭りの運営ノウハウが乏しくなりました。
親子会やエステバンにも参加してもらって、アドバイスをもらいながら実施しています。



大代南区ふれあい夏祭りの様子

エステバンとは・・・？

エステバンの名称は「太陽の子」を表わしております。これは太陽のように明るく元気に活動できる市内の中学1年生から高校3年生までのメンバーで構成しています。活動は地域のイベント、子ども会行事、児童館などで、子どもたちにゲームや遊びを通して集団生活の中でのルールやマナーを教えています。市内の子どもたちのお兄さん・お姉さんの存在であり、子どもたちのお兄さん・お姉さんとして活動しているジュニアリーダーのことです。

大代北

『お地藏さん祭り』

明治31年ころからあるお地藏さんは、50年ほど前に仙台新港の開港による移転で、住民と一緒に大代北に運ばれました。毎年、8月23日に祭りが催され、地域の人々が集まって、歴史あるお地藏さんにこれまでの感謝を伝えながら、地区の子供達の健康と無事を祈る行事です。
現在は婦人会が主催し、多い時は50人ほどが集まり、みんなで協力して祭りを行っています。



お地藏さん祭りの様子



【大代地区の支え合い・助け合い活動】

大代東



朝のあいさつ運動の活動の様子

- ・個人の方がボランティアとして毎朝欠かさずに“朝のあいさつ運動”をしています。町内で一番交通量が多く、信号機もない交差点のため、子供達の安全・見守りを行って頂いております。地域の安全・安心の一翼にもなっており、とても感謝しています。

大代中

- ・子供の登下校時に見守り活動をしています。防犯協会と交通安全協会が協力し合いながら、危険な箇所自主的に立って見守りをしています。また活動をとおして、東小学校や東豊中学校とも良い関係が築けています。



登下校時の見守り活動様子

大代西



大代福幸2の様子

- ・地域の有志の方で「大代福幸2」を運営しています。月に1回、第3水曜日に健康づくりや介護予防、レクリエーション等の活動を通して地域住民が交流し集える場を提供する活動です。この集いには大代西以外の住民も参加しています。

【大代地区の支え合い・助け合い活動】

大代南

- ・地域住民の有志の方々が防犯パトロール活動を行っています。
防犯協会や交通安全協会と連携して、小学生の見守りや声掛けをします。
この活動は学校の理解もあり、20年以上続いています。
子供達と挨拶を交わしながら元気な姿を見ることで、逆に元気をもらっています。



防犯パトロール活動の様子

大代北



楽集会の皆さんと活動の様子

- ・楽集会は60才代～90才代の方々のサークル活動です。
グランドゴルフや手芸教室、押し花教室など様々な活動を計画を立てて行っています。
グランドゴルフ前には公園のごみ拾いをしてからプレーを始め、冬は集会所の清掃をします。
サークル活動を通じて、地域の環境美化に貢献した活動もしています。

【大代地区の自主防災組織の活動状況】

大代東

- ・年2回、防災訓練を実施しています。
春は町内会独自で災害本部の設営、安否確認用の旗の確認、避難者名簿の作成やトランシーバーの交信位置確認、災害時の巡回コース確認など行っています。
秋は市の総合防災訓練に参画して実施しています。上記、一連の確認を行い、一時避難所の公園に集合し、東小学校まで避難しています。

大代中

- ・役員会の時に、町内会の防災担当から情報が提供され、役員内で共有をしています
- ・新型コロナで中止していた町内会独自の防災訓練を再開しました。

大代西

- ・地区内に高齢者が多いことや、避難先の東小学校まで遠いことから実際に実効性のある地区の自主防災計画(案)を作成しています。
これをたたき台にして、役員会で話し合いを重ねて完成させたいと思っています。
完成後も改善・見直しを行いながら、地域としての防災組織を確立させたいと思っています。

大代南

- ・民生委員と常にLINEを使って情報共有を行っているものの、詳しい話し合いは出来ていません。
早期に話し合いを始め、良い行動が出来る計画を作成したいと思っています。

大代北

- ・災害に備えて食料などの備蓄をしています。

【避難行動要支援者名簿の活用状況】

大代東

- ・新型コロナ禍前は、名簿に載っている方々を訪問し、災害時の避難や役員の派遣依頼等の対応について面談していましたが、残念ながら活用までは至っておりません。

大代中

- ・令和6年度から町内会の主要な役員（防災グループが中心）で情報を共有し、実態把握に努めています。

大代西

- ・作成中の自主防災計画（案）に反映させます。

大代南

- ・残念ながら活用までは至っておりません。

大代北

- ・残念ながら活用までは至っておりません。

【大代地区での協力体制や連携状況】

大代東

(1) 町内会長、町内会役員、班長、民生委員などの連携状況

- ・役員として民生委員・子供会育成会の会長、副会長も役員として構成されていますので連携は取れています。
また多くの行事の協力も頂いています。
しかしながら、役員が高齢化してきており、将来の役員として若い役員が少ないことは気になるところです。

(2) 若い世代への働きかけの工夫や参加状況等

- ・町内会の事業は、子ども会育成会と一緒にを行っています。行事は“大代東だより”でお知らせしているので、夏祭りや餅つき大会など数多くの参加者があり賑わっています。

大代中

(1) 町内会長、町内会役員、班長、民生委員などの連携状況

- ・民生委員も役員として構成しており、情報の共有も出来ています。
また連絡網も整備されており連携は出来ています。

(2) 若い世代への働きかけの工夫や参加状況等

- ・町内会の組織に親子会を組み入れています。まずは自分達の力で手伝ってくださる方を集めるように話しますが、任せきりではなく町内会もバックアップ、協力して一緒に催しなど実施しています。
若い人は若い人なりの協力者の集め方をしていますが、なかなか集まらないのが現状のようですが、頑張ってる様子が見られます。

～大代5地区町内会のつながり～

大代5地区は必要に応じて町内会長が集まり、相互連携・情報の共有を行っています。歴史がある地域のため、昔ながらのつながりがあり、様々な団体においても大代5地区全体の協力関係を崩さないに配慮しながら足並みを揃えて行っています。お祭りや慰霊祭などの行事も一緒に協力して行っているものが多く、つながりが強い大代5地区であると言えます。

【大代地区での協力体制や連携状況】

大代西

(1) 町内会長、町内会役員、班長、民生委員などの連携状況

- ・役員として民生委員も構成されており、協力して活動をしています。
- ・町内会長に仕事が集中しないように、出来るだけ役員みんなで仕事を分担する体制を作っていきたいと思っています。

(2) 若い世代への働きかけの工夫や参加状況等

- ・令和6年度から自分が手伝えることに対して協力するサポーター制度を導入しました。
町内会だよりで呼び掛けし、4人の方が登録しました。更に呼び掛けを行ってサポーターを増やしていきたいと思っています。

大代南

(1) 町内会長、町内会役員、班長、民生委員などの連携状況

- ・町内会長、役員、民生委員総ぐるみで行っており、連携は出来ています。
また、役員会には親子会・老人クラブにも参加してもらっており情報交換も出来ています。

(2) 若い世代への働きかけの工夫や参加状況等

- ・サポーター制度を導入しました。イベントや草取りなどに協力を呼び掛け、15名の協力がありました。「役員じゃなければいいよ。」「また手伝うよ。」といった声がありました。
こういったことから、気軽にお願いした方が良いのだと思いました。

大代北

(1) 町内会長、町内会役員、班長、民生委員などの連携状況

- ・町内会長、役員、班長の間での役員招集連絡系統を構築していますので、連携は出来ています。
しかしながら、民生委員との連携は残念ですが出来ていません。

(2) 若い世代への働きかけの工夫や参加状況等

- ・新しく引越されてきた方には積極的に声掛けをして、接点を持つように心掛けています。しかしながら、若い世代の町内会への関わり、行事への参加は少ないのが現状です。